

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

今日のテーマ「公平なたいどで」

使う教材「なおとからのしつもん」(光村図書)

育てたい心

誰に対しても分け隔てをせず、公平に接しようとする心情や態度を育てたいと考えています。

お話について



「ぼく」は、なおとの態度について気になっていることがあります。席替えのときに、仲良しの友だちが隣の席になると喜びますが、あまり話したことの無い子が隣になると嫌がります。また、休み時間に遊ぶとき、優しくしてくれる子は仲間入れてあげますが、前にドッジボールでボールをあてられた子は仲間入れてあげません。「ぼく」は、「人によって態度を変えるなんて、だめだよ。」と注意しますが、反対になおとから、「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」と聞き返されます。「ぼく」は、なおとの質問に、どう答えればよいのでしょうか。

授業の流れ

「公平」とはどういうことを考え、出し合う。

- 1 じゅんやとひろし、はなみとゆかこは、どんな気持ちだったでしょう。周りにいた人は、どう感じたでしょう
- 2 「なんで、人によって態度を変えたらだめなの？」というなおとの質問に、「ぼく」はどう答えたらよいと思いますか。

誰に対しても公平に接することができる人は、どんなことを大切にしていると思いますか。

人と公平に接することができなかったときは、どうしてできなかったのかを考えよう。

ご家庭で

ご家庭でも、お子さんが普段どのように友達と接しているのか聞いてみてください。お子さんの公平な態度について聞いたときは、それをしっかりと認める言葉がけをお願いします。おうちの人に認められることが自信になり、思いやりのある、よりよい人間関係を築いていくことにつながっていきます。